

## はじめての論作文作成から学ぶこと

### 0 今回の論作文課題のウラ話

今回提示の論作文課題：2020 年度福井県論作文問題（改）

\*\*\*\*\*

《2020 年度福井県教員採用試験 論作文問題》

平成 29 年 3 月に小学校及び中学校、4 月に特別支援学校（小学部・中学部）、平成 30 年 3 月に高等学校及び特別支援学校（高等部）の新しい学習指導要領が公示された。次の文は、今回改訂された学習指導要領の主な改訂点である。

- 教育基本法、学校教育法などを踏まえ、これまでの我が国の学校教育の実践や蓄積を活かし、子供たちが未来社会に切り拓くための資質・能力を一層確実に育成する。その際、子供たちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」を重視する。
- 知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成のバランスを重視する現行学習指導要領の枠組みや教育内容を維持した上で、知識の理解の質をさらに高め、確かな学力を育成する。
- 道徳教育の充実や体験活動の重視、体育・健康に関する指導の充実により、豊かな心と健やかな体を育成する。

= 「課題」 =

あなたは、下線部の「確かな学力」を育成するためにどのような授業を行いますか。また、そのような授業を行うために、あなた自身の資質・能力をどのように高めようと考えますか。次の 3 つの点に留意し、800 字程度で論じなさい。（…略…）

- ① 「確かな学力」とはどのような学力か明らかにして論じること。
- ② 「確かな学力」を育成するための授業とは、どのような授業かを具体的に説明すること。
- ③ 上記②の授業を実践するために、どのような自己研鑽をするか具体的に論じること。

\*\*\*\*\*

## 1 課題を改作提示したことで見えたこと

### ア 一定の見解が定まっている（オーソライズされている）事象等に対して・・・

「確かな学力」：基礎的な知識・技能、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等、主体的に取り組む態度＝学力の3要素

- ① 把握しておくべき知識・理解はあるか
- ② 自分の考えとして捉えすぎていないか
- ③ 「金太郎飴」的記述で十分か

### イ 現時点での論作文対策の心がけ（再確認）

- ① 教育の制度・環境・今日的課題などの内容や流れを客観的に理解把握

＊前回資料で例示したトピックや用語については最低限のノルマ

- ② 常に「謙虚さ」を意識

「確かな学力」とは、・・・である。

⇒「確かな学力」とは、〇〇〇によると／で示されているように・・・である。

・「確かな学力」とは、・・・である。これは〇〇〇で示されていることであるが、今日（のような変化の激しい時代においては）、この認識を踏まえた指導が一層重要になっている。

- ③ 児童・生徒・学生としての‘実績’の振り返り

…あの時、こんなことがあった、あんなことがあった、楽しかった、うれしかった、哀しかった、情けなかった、ためになった、そして今がある…

## 2 今回の論構成

- ・作成字数が800字程度という制限から序論・本論・結論の3段構成が適当
- ・字数制限の±10%許容範囲。できれば±5%以内に収めたい。

### ア 各論の内容例

①序論	②本論	③結論
(ア) 確かな学力とは + 必要性、背景	(イ) 実践したい授業例 (グループ討論、探究型、プレゼン、クロスカリキュラム、ICT活用等) + 自身の体験した授業 + 先進授業例 + 学識経験者等の知見	(ウ) 自己研鑽 (優れた授業の参観、教員研修・講演会参加、最新理論・技術の取得等) + 決意表明 + 簡潔なまとめ
(ア) 確かな学力とは	(ア) の必要性、背景 (イ) 実践したい授業例 (ウ) 自己研鑽	①②の簡潔なまとめ

## イ 提出論作文から気づいたこと

- 客観的な証拠・調査結果等を適切に入れ込んだ記述があった。内容に信頼性が得られるとともに教職に就こうとする高い意識が醸し出される。
    - ・「OECD 生徒の学習到達度調査(PISA)／IEA 国際数学・理科教育動向調査(TIMSS)の調査結果によると…」 「デジタル教科書の使用制限が撤廃に向かうなど…」
  - 自身の成長を促してくれた思い出に残る授業内容を紹介しその分析等を簡潔に記した文章があった。個人的な経験ではあるが、興味深い記載であった。
  - △ 教員として、自らの教養や専門的知識・技能を高めるために自己研鑽に励むのは当然である。具体的な方策、プランの提示が乏しい。
  - △ 実践したい授業については具体的に示していた。特に ICT を活用した授業に言及した記載が比較的多かった。ICT を活用する場合の留意点・工夫したい点にも触れてほしかった。一方、基礎的・基本的な知識・技能の習得の重要性について言及する内容が極端に少なく、消極的な記述が多く見られた。
    - ・「日本においては大学受験に向けた知識・技能の習得に重きが置かれ…」
    - ・「私の中学校や高校の授業を振り返ってみると、一斉授業で…」
- \* 1 ページに載せてある《2020 年度福井県教員採用試験 論作文問題》を再読してみると…

## 3 最後に

せっかくですから、1 ページの枠内にある「今回改訂された学習指導要領の主な改訂点」を使って、これから論作文の対策をなさっていく皆さんにアドバイスを少々。アドバイスと言うのもおこがましいことばかりかもしれませんが。

- ・ (1.1-2) 「これまでの我が国の学校教育の実践や蓄積を活かし」:
- ・ (1.2) 「子供たち」:
  - 「未来社会に切り拓く」:
  - 「一層確実に」:
- ・ (1.4) 「社会に開かれた教育課程」:
- ・ (1.5) 「知識…のバランスを重視する現行学習指導要領」:
- ・ (1.6) 「を維持した上で」:
  - 「知識の理解の質をさらに高め」: